

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	思い込みや、摂食拒否の方への対応。	全員が必要な栄養、水分をおいしく取れるようにしたい。	嚥下の悪い方へいろいろな味のゼリー食やムース食の提供。水分の摂取もお茶や、水ではなく味のあるもので体に吸収することから初める。	10ヶ月
2	49	日々の業務に追われて、日常的に外出することが減ってきている。	2日に1回程度の外出。※季節的なことや天候も考慮する	ホームの庭やお地蔵様へのお参りからまず初めて、出不精の方も外の空気になれていくように。月に1回の外出レクの充実を図る	10ヶ月
3	4	運営推進委員会の開催がなかなかできない。なかなか地域の方や家族様の都合が合わない。	まず、開催すること。	まめに連絡を取ってみる。	10ヶ月
4	7	虐待の防止。何気ない行動が虐待につながる事への理解不足。	入居者を取り巻く環境においてスタッフを初め家族様にも虐待への意識を高める。	虐待があるわけではないが、声掛けの方法・声の大きさ等も一人一人に対して違うこと等小さなことも理解し対応していくことなど、日々の配慮をミーティングや毎日の申し送りで徹底。プライバシーの保護についても同様。	10ヶ月
5	13	技術的なこともあるが一番大切なことは『今やっていることは何のためにしているのか』の理解と『何をしてあげればいいのか』の発想がまだ足りない。	利用者優先の考えのもと、スタッフ全員が介護(ケア)につとめる。	日々のホーム長からの申し送りを理解し、カンファレンス・ミーティングで意見を言ってもらい自分の頭で考えて行動をすることを行っていく。	10ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。